

視聴覚教育

自作ビデオ教材・8ミリ映画

六作品が完成

本年度も、理職教育社会科部と視聴覚部自作委員会合同制作による自作ビデオ教材及び8ミリ映画、あわせて6作品がこの十一月末日で完成した。

一学期のコンテプくりが始まり、夏休みを中として現在までの撮影、一学期後半から冬休みにかけての編集作業など、夜々撤してのハードな活動であった。

コンテプくりの段階では、愛知教育大学教授松井貞雅先生より、「社会科教材としての価値ある作品にするための指導」について、編集段階では、沼田名彦教授の指導の下で、講師の指導を受ける。



NO. 9
 発行日 9月4日
 発行 岡崎市AVL
 編集 広報委員会

「あつ」の機会を得た。

直接制作にあたり、自作社会科部員十八名、視聴覚部員十八名、レクターとして協力していただいた五名の女の先生、撮影に心をこめて下さった多くのカメラ、連日スタジオを借りていただいた香津小学校など、多方面より協力を得ての尊い作品づくりであった。

▽ 本年度の自作ビデオ教材

- 「はら 卑オライ」 13分24秒 対象 小三社会
- 「いばり作り農家をめぐって」 14分30秒 対象 小三社会
- 「伝統産業——河仏塵」 14分44秒 対象 小五社会
- 「家康——河平定までの歩み」 15分20秒 対象 小六社会
- 「中小企業展——因崎のミット」 14分54秒 対象 中三社会

▽ 本年度の8ミリ映画

「高野師——伝説をまよひまろる人」 15分53秒 対象 社会教育
 これらの作品は、本年度の愛知県自作視聴覚教材コンクールに参入されるが、それにも増して、来年度からの社会科授業において、より多くの学校で、より多くの子どもたちのために活用されることを期待される。

社会主義教育月における

視聴覚教材の利用

岡崎市社会教育指導員 = 井 元治 川辺 文男

昭和五十二年度、岡崎市における社会教育関係機関の教室や学級の主なものは、

- ① 高校生教室 ② 家庭教育学校 ③ 幼児学校 ④ 青年学校
 - ⑤ 婦人教室・婦人学級 ⑥ P.T.A.フルーフ活動 ⑦ 市民センター
- 及び婦人会館などの各種講座 ⑧ 家庭教育相談などである。

これらの教室・学級での学習には、講師の授業間に入り、話と合間に、学習内容の深まりを求めたり、16ミリ映画をライントレイトしては、より具体的に学習をすすめるようにしている。

例へば、広備会館での家庭教育学校では、16ミリ映画「子育ての心」を上映し、思行ヤリと興行の心、そして自立心を育てるためのほほえみ、そしてよいかなど、映画を見ながら中心に話を話し合ったり、若しお母さんには、こんなよい教育の場がある。



講習会のお知らせ

パソコン

講習会

一月十八日(金)

富士スチール大会議室

アタライザー

一月二十二日(火)

応用研修会(中級)

六ツ美中学校

いさごて参加下さい。

INTERNATIONAL YEAR 1977

新規購入の16mm映画巡回始まる

教材費を節約して購入した16ミリフィルム(二十二本)を、一月八日(火)より、各校へ巡回交換のます。最初の学校へは、ライズラリーより届きますが、次の学校へは巡回計画表に基づいて搬送をお願いいたします。フィルムの取り扱いらしいには、十分注意をして下さい。また上映報告の記入もお願いいたします。

自作視聴覚教材コンクールに、
本年度はビデオ本、8ミリ映画、
一月八日(火)から行って
います。